

# 自宅療養 最多43万人

1週間で17万人増 入院調整に懸念

厚生労働省は四日、新型コロナウイルス感染による全国の自宅療養者が一日午

前零時時点では過去最多の四十三万四千八百九十人となつたと発表した。第五波ピークの一倍となつた。前週（一月二十六日時点）前週（一月二十六日時点）の約二十六万四千人から、

一週間で約十七万人増えた。オミクロン株による感染拡大が続き、保健所などによる健康観察や入院調整の自詰まりが懸念される。

一日時点の都道府県別の新型コロナ患者向け病床使用率は、東京や大阪、奈良など十九都府県で50%以上だった。重症者用に限ると50%以上は沖縄だけだった。

入院患者を含む全体の療養者数は約六十六万四千人で、自宅療養者が65%を占めた。自宅療養者を都道府県別で見ると、東京の七万一千八百十三人が最多。神

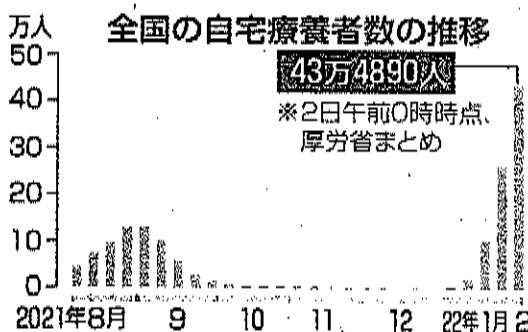
奈川四万九千九百二十四人、福岡二万六千三百三十人、大阪三万三千十四人、兵庫三万九百五十三人、愛知二万七百十九人が三万人を超えた。

自宅療養者とは別に、病院や宿泊施設といった療養場所が決まっていない「療養先調整中」の人は十八万人に上る。このうち入院が必要なのに受け入れ先医療機関が決まっている人は四千三百八人。

全国の自宅療養者数の推移

43万4890人

※2日午前0時時点、厚労省まとめ



厚労省は都道府県の報告を基に算計した病床や入院週公表している。